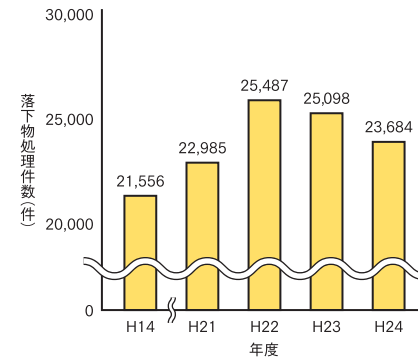


落下物の種類別件数・構成比 (H24年度)

路線名	H14年度	H24年度	増減
4号湾岸線	82	154	72
5号湾岸線	81	98	17
3号神戸線	76	48	▲28
他路線	234	292	58
計	473	592	119

落下物事故件数 (路線ごと増減比)



落下物処理件数の推移

高速道路での落下物は重大事故につながるため早期発見とスピーディな処理に努めています。定期巡回中に落下物を発見したり、ドライバーの方から非常電話や道路緊急ダイヤル（#9910）が入ると交通管制室から指令が出され、最寄りのパトロールカーが現場に急行し、落物を回収します。

また、回収することのできない大型の落下物の場合は緊急車線規制を行います。落下物が多いのは角材やベニヤ板などですが、過去にはプレハブ小屋が高速道路上に落ちていた事例があります。また、財布などの小さな落下物を発見することもあります。

高速道路の落下物は、重大事故を引き起こす要因です。



道路上に散乱したベニヤ板。落下物は重大事故の原因となるだけでなく、交通の障害となって渋滞を引き起こします。

危険と背中合わせだからこそ、つねに冷静な判断が求められます。

私が対応した事案ではタンクローリーが横転する事故がありました。現場に駆けつけるとタンクが破損し、中身の液化窒素が漏れ出ていました。ご存じのように液化窒素は爆発や触れると凍傷を起すこともあるため、とても緊張して処理に当たったことを憶えています。回収に時間を要するのは積み荷の散乱です。重量のあるや大きな散乱物は交通を遮断してしまいます。さらに、雨の日にチラシなどの紙類が大量に散乱してしまうと、濡れた路面に貼り付いて回収に大きな労力と時間を費やすこととなります。このような事態を引き起こさないためにも、トラックやダンプを運転されるドライバーの方にはロープ掛けやシート掛けを怠らないようにお願いします。



落下物を見つけた場合は直ちに後続車に注意を促し、後方警戒にあたりながら迅速に落下物を回収します。

おねがい

- ◎黄色いパトロールカーは緊急停止することがあります。十分な車間距離をとってください。
- ◎障害物がある場合、緊急に車線規制を行うことがあります。区間内は速度を落として走行してください。
- ◎現場に急行するために緊急走行することがあります。道路を譲ってパトロールカーの走行にご協力ください。
- ◎発炎筒を焚いている時は、その先に障害物があります。速度を落とし、注意して走行してください。

故障したり、落下物を見つけたら非常電話か道路緊急ダイヤル（#9910）で交通管制室にお知らせください。



365日24時間体制で、安全・安心・快適を守り続けています。

阪神高速道路を走っていると目にする機会の多い黄色のパトロールカー。今回は、あのパトロールカーで定期巡回や落下物の回収、事故や故障車発生時の後方警戒などを行っている阪神高速パトロール(株)を訪れ、久保田輝明係長に毎日の仕事について聞きました。

障害物の早期発見と道路機能の回復が主な仕事です。

高速道路の交通を阻害する三大要因は、事故・故障車・落下物です。私たちは、それらを早期発見し、迅速に対処してドライバーのみなさまに安全、安心、快適に阪神高速道路をご利用いただけるよう24時間体制で定期巡回を行い、交通管制室から指令があれば、すぐに急行できるような体制を敷いています。

具体的には、事故が発生した場合は現場に到着すると、まず負傷者がいないか確かめ、二次事故が発生しないように車載式の表示板を出して、赤い旗や指示灯で合図を行い、発炎筒を焚いて後続の皆さまに注意を促し、後方警戒にあたります。

故障車の場合は、移動が可能であれば、お客さまの了解のもと、牽引して非常駐車帯まで車を移動させます。



事故発生のため車線規制を行い、後方警戒にあたるパトロールカー。